



IYEO News Avenue

～遙かなる海を越えて～

特定非営利活動法人 青少年異文化交流推進協会
Intercultural Youth Exchange Organization (NPO)

News Letter
Vol.15
Winter 2009
季刊誌

Intercultural Youth Exchange Organization (NPO) Sendai Chiba Osaka Hiroshima Fukuoka Oita Miyazaki Okinawa Los Angeles Perth Wellington

TOPICS

新春号

- ・特集(1) 高校留学の基礎知識
- ・特集(2) 海外の教育制度
- ・世界何でもランキング 世界の人気旅行先
- ・アメリカ大学生生活に関するアンケート Part 2
- ・アメリカ高校交換留学保護者アンケート Part 2
- ・世界の国旗 Q&A オーストラリア連邦
- ・世界の「食堂車の」車窓から おせち料理
- ・留学偉人伝(5) 津田梅子
- ・IYEO デスク便り バランスのとれた教育!



特集(1) 高校留学の基礎知識 自分に合った留学を探そう!

高校生が参加できる留学には どのようなタイプがあるの?

まず短期プログラムと長期プログラムに分かれます。一般に参加期間が3ヶ月未満のプログラムを短期プログラムといいますが、実際に募集されている高校生向けの短期留学は1ヶ月程度までのプログラムがほとんどです。長期留学は私費留学と交換留学に大別されます。交換留学は参加者に対して学費免除や無料のホストファミリーなど多くの特典が与えられ、一年間の留学費用(授業料、滞在費、食費、往復の航空券代、その他管理費を含めて)が約120万円前後と他のどの留学プログラムと比較しても格段に安い参加費用になります。私費留学では国や地域、就学校、サポート内容などにより参加費用に大きな差がありますが、概ね200万円から500万円程度です。

●気軽に参加できる短期プログラム!

とにかく英語の世界に行ってみたい。多くの国の人と触れ合ってみようという気持ちを持ち始めた人に適したプログラムです。参加期間は約1週間から1ヶ月程度までのプログラムが多くあります。留学=勉強という概念だけではなく、スポーツ、観光、異文化交流、小旅行などのアクティビティーと英語研修が組み合わせられ、ユース・ジュニア・キッズプログラム等と呼ばれます。

渡航先はアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドはもちろん、スイスなどのヨーロッパやアジア圏も可能です。留学時期は日本の夏休みや春休みに多くのプログラムが開催されています。滞在方法はホームステイや学生寮、ロッジなどが多いようです。

各国の中学、高等学校や大学が主体となり、世界中の中高生をそのキャンパスに集めて行われる、サマースクールと呼ばれるプログラムもあります。午前中は世界から集まったクラスメイトと一緒に英語の授業を受け、放課後や週末は先生や友達と一緒にスポーツやゲーム、観光、旅行に参加し、楽しみながら英語力の向上をはかったり、異文化交流を楽しむことができます。

オセアニア2ヶ国で人気の高いプログラムとしてバディプログラムというものがあります。ホストファミリーに滞在し、各家庭の子供と一緒に学校の通い、バディ(相棒の意味;スキュー



バダイビング等にも使われる頼れる仲間の意味)と一緒に現地の学校授業を体験できる短期プログラムです。

●英語力だけでなく人間的な成長が期待できる交換留学

留学先のごく一般的な家庭にホームステイをしながら、その校区の学校に数ヶ月から一年間通学し、地域の人々に支えられながら異文化交流を体験、国際交流や理解を深めるといふ、言わば日本からの親善大使の役目をこなして渡航する留学プログラムです。

受け入れ先のホームステイはボランティアとして現地の管理団体に登録しています。ホストファミリーは留学生の一年間に渡る滞在を無報酬で引き受けます。また就学校の学費も免除されることにより、一年間の留学費用が非常に安価となる事がこのプログラムの特徴です。

その反面、これら現地関係者の好意とボランティア精神からなりたっているプログラムであるが故に、参加者の留学生には、厳しく自身を律しながら、異文化交流のために派遣された親善大使であるとの意識を持ち、自立した留学生活を送ることが求められます。具体的には必要最低限の語学力、柔軟な適応力、客観的な判断力、自主的な行動力、責任感などの能力が求められますが、これら全てが完璧に備わっていることが必要ということではありません。一人で親を離れて、全く日本語の通じない世界の中で一年間生活することにより、プログラムを終えて帰国した際には、これらの能力が飛躍的にアップしていることこそ、この留学の一番の醍醐味です。



参加にあたり最も重要なことは、最低限の上記能力を身に着けている事と共に、現地の人から愛される人柄であること、不慣れな英語力だけれど応援してあげようと感じてもらえる人柄、そのための努力を絶やさないという固い決意であるといえるでしょう。

ボランティアにより運営されている交換留学プログラムは、現地受入奨学財団が全ての責任と権限を有しており、留学エリアの希望やホームステイの希望などは受け付けてもらえません。また参加者が交換留学生として不適切な行動を取ったと判断された場合の処分も、全て奨学財団の判断に委ねられます。

●参加者の希望に沿う環境が選べる私費留学

私費留学は留学先の国やエリア、留学期間、学校の難易度、男女共学や男子校、女子校、授業料や滞在方法など、ほぼ全ての条件に対して参加者の希望を出す事が出来る事が一番のポイントです。もちろん日本の学校と同じ

ように、難易度の高い学校から入学許可を受けるには高い語学力や学力が必要ですが、基本的には留学希望者の諸条件に合わせて最適な学校や国を選ぶ事が出来るといえます。

私費留学では一般的に私立校への留学が主になります。ただしオーストラリア、ニュージーランド、カナダでは公立校への留学も可能です。私立校への留学が主になる理由は、留学生を受入れる環境を整えている場合が多い（具体的には英語を母国語としない留学生向けの授業を履修できる等）からという事情によります。公立校は基本的にその国の税金が使われており、当然自国民の教育が優先されますが、私立校は学校独自の教育方針を持ち、学校運営の独自性があるからです。ただし前述の3カ国では学校区や教育省自体が留学生の受入れに積極的であるため、公立校への留学も可能となります。

留学期間は、一年以内に留学を終了し日本の在籍校に復学するパターンと、卒業をめざして留学するパターンに分かれます。海外の学校でその国の生徒と一緒に勉強する体験はしたいが、卒業は日本で、という人は一年以内の留学が適しています。ごく稀には、海外の学校と日本の学校の両方から卒業資格を入手できるような、努力と幸運を手にする人もいます。日本の教育よりも海外の教育を受けたい人や、将来海外への大学進学を視野に入れている人達は卒業目的の留学を選ぶことが多いようです。

留学はしてみたいけれど、高校ではまだ早すぎませんか？

十分な英語力を身に付けるために、長期留学は是非経験したいけれど、まずは大学受験の難関を突破し、大学在学中に長期留学をしよう！と考える人が増えているようです。これは2000年以降、全国の名門大学の学生が1年間大学を休学をして、留学に参加する割合が増加していることから推測できます。社会人になる前に、就職活動をスタートする前に、十分な英語力を身に付けたいと考える人が確実に増えていると言えるでしょう。

しかし残念ながら日本の名門大学生の英語レベルを持ってしても、海外の大学への学部留学は英語力のハードルが高く困難なため、多くの大学生が語学留学に参加しています。英語力を高める目的として語学留学は非常に効果的ですが、学部留学のように現地学生と机を並べて一般教養科目や専門科目などの授業を受けることが出来ません。高校留学は、現地学生と一緒に勉強する正規留学に比較的容易な英語力で参加出来るというメリットがあります。

文部科学省では「校長が許可した留学に参加する生徒に



については、外国の高等学校における履修を最高 30 単位まで、日本の在籍高校の単位として認めることが出来る」と定めています。つまり留学期間を休学扱いにせず、高校を 3 年間で卒業することが可能になります。1 年間の長期留学を

経験しつつ、高校 3 年間で大学 4 年間の合計 7 年間で高等教育の卒業に到達できるという長期的視野に立てば、時間、コストの両面対費用効果が良い留学であるということも言えます。

参加に求められる学力などの条件はプログラムにより異なりますが、留学中に困難に遭遇した際、何よりも大切なのは「ゴールテープをきる覚悟を持ち頑張り続ける精神」です。いつかは一年間程度の留学してみたい！と考えている人は、高校留学という選択肢も考えてみてはいかがでしょうか？ (Soramame)

特集(2)海外の教育制度

日本と大きく違う国もある！

高校留学希望者にとって重要な問題である留学先の国々の教育制度はどうなっているのでしょうか？初等・中等教育を比較してみましょう。

日本の教育制度のモデルとなったアメリカ



アメリカの教育制度は、国によって統一されておらず、州により 6-3-3 制、4-4-4 制、8-4 制など学年制が違います。通常、17～18 歳で日本の中学・高校に相当する中等教育が終わります。規定の単位を満たすと卒業できる単位制となっており、生徒は学校のアドバイザーの先生と相談しながら単位履修登録をし、自分が選んだ科目の教室に移動して授業を受けます。9 月に新学期が始まり翌年 5 月までの 1 就学年度を前期・後期に分ける 2 学期制が主流ですが、3 学期制や 4 学期制の学校もあります。

中等教育までは各州で独自のシステムを採用しているため、全国共通テストとなる SAT (Scholastic Aptitude Test) や ACT (American College Test) を実施し、生徒の学力を測ります。大学進学に際して入学試験はなく、高校の成績平均スコア GPA (Grade Point Average) や SAT 等のスコア他必要書類を提出し、希望大学に出願します。難易度の高い大学を目指す生徒にとっては高校時代の成績が非常に重要、また成績以外にも課外活動

やボランティア経験、推薦状なども重要なポイントとなります。

教育レベルが高いカナダ



基本的な学制はアメリカ同様、日本の小学校から高校までとほとんど変わりませんが、学年及小、中、高校の区切りは州によって異なり、ブリティッシュ・コロンビア (B.C.) 州は 7-5 制、アルバータ州は 6-3-3 制、ケベック州は 6-5 制になっています。

規定の単位を取得すれば高校課程を修了しますが、卒業に必要な要件は州によって異なります。ブリティッシュコロンビア州では州の統一試験に合格する必要があります。ケベック州では、大学進学希望者は CEGEP (college d'enseignement general et professionnel) とよばれる短大で 2 年間学ぶ必要があります。他の州でも「職業コース」と「大学進学コース」があり、進学希望者は希望専攻分野を履修し、履修授業時間数と単位を満たした上で州の卒業認定試験を受ける必要があります。カナダもアメリカ同様、生徒自身が学年の初めに単位登録し、自分が選んだ科目の教室に移動して授業を受けます。

卒業という概念がないイギリス



イギリスでの義務教育期間は 5 歳から 16 歳までですが、公立校と私立校により、その呼び名や履修期間が僅かながら違います。初等教育が終わるのは公立校では Year6 (11 歳) ですが、私立校では Year7,8 のケースもあります。

Senior School, Secondary School と呼ばれる中等教育には「卒業」という概念がありません。卒業資格が存在しない代わりに Year11 終了時に GCSE (General Certificate of Secondary Education) と呼ばれる全国統一試験を受けます。Year11 終了後は職業専門学校と進学準備校に分かれ、大学進学希望者は Year12,13 の 2 年間で GCE・A レベル (General Certificate of Education - Advanced Level) を受験するための課程である 6th Form や Tutorial College に進みます。

州統一試験があるオーストラリア



初等・中等教育は州によって多少異なりますが、5 歳～17 歳が対象となります。Year1 (6 歳) から Year6 (州によっては Year7) までが初等教育。Year7 (州によっては Year8) から Year12 までが中等教育です。中等教育はさらに前期、後期に分かれ、前期 Year10 までが義務教育、日本の高校 1 年生

で進路を決めることとなります。Year10を終了すると義務教育修了証が発行され、就職するかTAFE等の高等職業専門学校に進むことが可能。大学などの高等教育機関への進学を希望する生徒は、進学準備過程のYear11・12に進みます。オーストラリアは入学後すぐに専門分野を学ぶため、この進学準備課程の2年間で、大学進学に必要な一般教養と、大学の専攻分野に関する基礎科目を履修し、高等教育の基礎を身につけます。大学などの高等教育機関へ進学するための入学試験はありません。Year12修了前に実施される各州の統一卒業資格試験を受け、そのスコアとそれまでの成績が総合的に評価され、進学できる大学の学部が決まります。

入学式がない?! ニュージーランド

日本の小学校にあたる Primary school には 5 歳の誕生日を迎えると順次入学し、6 年間または 8 年間の初等教育を受けます。日本の中学・高校にあたる Secondary school は、Year9 ~ Year13 の 5 年間。日本の高校 1 年生にあたる Year11 (16 歳) 時に全国統一試験 NCEA(National Certificate of Education Achievement) レベル 1 を受験し、単位の取得によって義務教育の修了となり、そのまま Year12 を継続し大学進学準備過程の Year13 に進むか、専門学校 (Polytechnic) に進む、あるいは就職と進路が分かれます。Year12 と Year13 の時にそれぞれ NCEA(レベル 2)、NCEA(レベル 3)を受験し、単位を取得することにより高等教育機関への進学の準備がなされます。(May)



世界何でもランキング

世界の人気旅行先ランキング



世界観光機構 2007 年の調査によると、世界の人気旅行先として、栄えある 2007 年度第 1 位に輝いたのはフランス!なんとフランスは 10 年以上も人気旅行先 No.1 の座に君臨しているそうです。美術館巡りやショッピングはもちろん、ワインの産地でもあるボルドーなどを訪ねたり、古城巡りも人気が高いポイントなのではないでしょうか?!そして、第 2 位はスペイン!闘牛やフラメンコが代表的であるように、情熱的で個性豊かな国。ガウディやピカソといった芸術的天才を生んだ国でもあります。第 3 位は新しい大統領誕生で盛り上がるアメリカ合衆国!日本でもお馴染みの旅行先でもあるハワイやグアムもアメリカですね!!その他に、サモア、プエルトリコ、バージン諸島



などの島々もアメリカ領です☆
4 位は中国。広大な国土と他民族国家。アジアのトレンド都市のひとつである香港も昨今猛スピードで発展している魅力的都市ですね! 5 位のイタリアは、長いカトリックの歴史を感じさせる歴史的建造物やそれを取り囲む街並み、地中海の島々。日本でもイタリア料理は人気の料理のひとつ! 6 位のイギリスは、伝統と格式の国! ファッション・音楽・スポーツでも名を響かせる、これまた 트렌ディーな国です。7 位は香港。2005 年にディズニーランドができたのも大きな話題となりました! 8 位のロシアの魅力は何と言ってもシベリア鉄道! (その他にも美しい景色、都市もあります) 9 位はメキシコ。カリブ海に面する国でもあり、太陽と海が輝くりゾート地としても人気がある国です。そして、10 位はドイツ。歴史と文化に彩られた奥深い国、フランス同様古城も魅力的な観光地として有名です。

などの島々もアメリカ領です☆
4 位は中国。広大な国土と他民族国家。アジアのトレンド都市のひとつである香港も昨今猛スピードで発展している魅力的都市ですね!



5 位のイタリアは、長いカトリックの歴史を感じさせる歴史的建造物やそれを取り囲む街並み、地中海の島々。日本でもイタリア料理は人気の料理のひとつ! 6 位のイギリスは、伝統と格式の国! ファッション・音楽・スポーツでも名を響かせる、これまた 트렌ディーな国です。7 位は香港。2005 年にディズニーランドができたのも大きな話題となりました! 8 位のロシアの魅力は何と言ってもシベリア鉄道! (その他にも美しい景色、都市もあります) 9 位はメキシコ。カリブ海に面する国でもあり、太陽と海が輝くりゾート地としても人気がある国です。そして、10 位はドイツ。歴史と文化に彩られた奥深い国、フランス同様古城も魅力的な観光地として有名です。

あれっ? 香港って中国の都市では??

とお思いでしょう。香港の正式名称は中華人民共和國特別行政区 / Hong Kong Special Administrative Region of the Republic of China で、1997 年 7 月 1 日にイギリスから中国へ返還され、特別行政区となりました。実質、中国ではあるのですが、特別行政区であることより、本国から独立した行政体制が保たれています。(例: 中国本土の通過は元であるのに対し、香港では香港ドルです。)



*日本人が多く訪れる国 Top5

- 1 位: 中国 2 位: アメリカ 3 位: 韓国
- 4 位: タイ 5 位: 香港

*日本を訪れる外国人の出身地 Top5

- 1 位: 韓国 2 位: 台湾 3 位: アメリカ
- 4 位: 中国 5 位: 香港

(上: 国際観光振興機構 2007 年 7 月推計)

冬休み(年末年始)を利用して海外旅行へ行っただ方もいらっしゃるかと思います。あなたの訪れた国は、世界の人気旅行先の Top10 に入っていたでしょうか? また、年末年始に海外旅行をしなかった方も、将来、海外旅行を検討される際に世界のトレンドを参考にしてみてもは??!

アメリカ大学生生活アンケート

Part 2

留学して困った事は？

前回の 14 号から引き続き、現在アメリカの大学へ留学中の日本人生徒達からのアンケートをご紹介します。

Q1) 留学して最初に困ったことは何ですか？ またどうやって困ったことに対応しましたか？ (☆困ったこと ★対応)

☆コミュニケーションを取るのに苦労しました。今でも苦労していますが・・・人の名前を覚えるのが苦手です。今でもよく聞き返しています。私はスポーツ奨学金プログラムで大学へ入りましたが、到着翌日からの練習に戸惑い、コートの中の英語の早さに目が回りそうになりました。チームメイトにもコーチにも思っていることが言えず、つらくて悔しくてたまりませんでした。同じコートと一緒に立っているのに気持が掴めず、仲間ではない感じがしたのが一番印象的でした。

★コミュニケーション能力を高めるのはこれからの目標です。今思っていることは、自分の知識を増やすことです。知っていること興味があることを増やし、自分から話せるようになりたいと思います。いつも人が聞いてくることに答えたりするのがほとんどなので。人の名前は紙に書いて覚えています。スポーツの方は、練習に徐々に慣れていき、わからないことを何回か説明してもらったりしながらゆっくり前に進んでいきました。チームメイトとのコミュニケーションでは自分がみんなの中に入るよう努力しました。最も効果的なのは自分の実力を見せることです。コートでの自分の存在をアピールするよう常に練習に全力投球しました。

☆寮の部屋がまちがって登録されており、自分の部屋を何度も移動しました。友人は部屋がなく、寮のラウンジで一週間すごしていました。到着した時期の外気温は氷点下 20 度でした。事前に天気を調べておらず、日本の冬の服装で到着したため、すごく寒かったのを覚えています。



★下手な英語で寮の責任者に聞きました。また留学生を助けるためのサークルがあったので、彼らも助けになってくれました。

☆グループで会話をしている時、スピードについていけなかったり言い回しが理解できなかったこと。一対一では比較的解りやすかったのと好対照でした。

★友人とのチャット等を通じて、分からない言い回しを文字にして見ることにより理解できるようになりました。

★他の留学生に相談したり、アメリカ人のルームメイトに相談しました。アメリカ人のルームメイトとはかなり仲が良かったので、困ったことがあるといつでも相談にのってくれました。

☆生活のストレスで急性胃炎になって食事がうまくとれませんでした。

★日本から漢方薬をもらい、少しずつ食事に慣れていきました。

☆車社会のアメリカで車がなかったことは本当に不便でした。

★何よりも車を持つてると仲良くなる事！

★なんとか免許を取得し車を買いました。

☆アメリカ人の仕事の遅さとできなさに悩まされました。

★それが普通なんだと思うことでその後の対策を立てやすくなりました。

Q2) 寮生活でしんどいことはありますか？

☆ありません。私の学校はとてもいいところです。

☆寮生それぞれに起きる時間、寝る時間がちがうので、夜中うるさいこともありました。

☆到着した時シャワーのお湯が出ませんでした。

☆ルームメイトが真夜中に友達を呼んできて、一緒に宿題をすること。

☆小さな部屋なので、Skype などを使って会話をするのもルームメイトに迷惑をかけそうで、気を使います。

☆自分が寒くても、アメリカ人のルームメイトは扇風機をつけっ放しだったこと。でも、毛布はガッチリ被ってる。しかも寮の大抵がそう。アメリカ人の温度感覚は日本人と大きく違い驚きました。

☆最初のルームメイトとは生活リズムの違いに苦労しました。自分が勉強しなければいけない時は、いつもパソコンや教材を持ってロビーへ行き、朝まで勉強していました。神経質で物静かなルームメイトだったので自分とはあまり相性が良くなかったと思います。

☆日本では見たことのない虫に遭遇。

☆ルームメイトの衛生観念と体臭です。

交換留学生保護者の声 Part2 ご家族に一番のおみやげは？

IYEO が実施する AYA アメリカ高校交換留学参加者（2007年度）の保護者からの帰国後アンケート結果の一部をご紹介します。交換留学に参加した子供たちに対して、保護者がどのように感じているのか？興味深い結果が出ています。

Q1) お子様アメリカ高校交換留学に参加されるにあたり保護者として出発前にどのようなことに不安を感じられましたか？

- ☆食事の変化やストレス等からの体調不良。
- ☆ホストファミリーとの関係。
- ☆突然の災害やトラブルに巻き込まれることへの不安。
- ☆英語力の未熟さ。
- ☆学校で友達ができるかどうか？
- ☆不安は一切なかった（4人の姉、兄が経験済み）と言えは嘘になる。往復の飛行機の事故だけは心配しました。
- ☆アメリカの環境に適應できるか？
- ☆ホストファミリーの一員になるよう、本人が工夫していけるか？
- ☆不安は全くなかった

Q2) 帰国後お子様は日本の学校に復帰するのに不安を感じていらっしゃるようですか？

- はい__ 29% いいえ__ 71% わからない__ 0%
- 「不安を感じるている」と答えた人の理由
- ☆同級生との年齢の差
 - ☆大学進学への不安
 - ☆他高校への進学

Q3) お子様のアメリカ高校交換留学参加により、一番良かったと思えることは何ですか？

- ☆英語力がついた上に人間として成長したこと。
- ☆人間的成長
- ☆力強さ
- ☆ホームステイ先と大変良い関係でいること。
- ☆たくさんの人と出会えたこと。
- ☆日本の高校では経験できない事（プロム等）を経験できたこと。
- ☆末っ子の甘えん坊でしたが、苦しい状況に耐え（忍耐力）自立心がついたことです。
- ☆自分を見つめ、これからの将来を自分の意志で決め、実行していこうと娘が考えている事です。



世界の国旗 Q&A (4) オーストラリア連邦

今回は、世界で6番目に面積が大きい国、オーストラリアの国旗について！

オーストラリアの国旗は News Avenue Vol.12（夏号）で御紹介したニュージーランドの国旗同様、ブルー・エンサイン（旗の一種で、イギリスに関係する組織や地域で使用される。オーストラリアは英連邦の一国。）を基にしたもので、左上にユニオンフラッグ（イギリスの国旗）と、5つの白い星を配置した旗です。星は星でも、アメリカ国旗の星とは異なる星で、南半球の星座である南十字星（サザンクロス）をイメージとする5つの白い7角星が特徴です。さて、ここで問題です。

Q. 国旗の7角星の“7”という数字には、ある意味が込められていますがその意味とは？

A. 州の数

オーストラリアは、6つの州と1つの準州から成り立っています！（オーストラリア首都特別地域：ACT、西オーストラリア州：WA、ビクトリア州：VIC、クイーンズランド州：QLD、南オーストラリア州：SA、タスマニア州／TAS、そしてノーザンテリトリー：NT/北部準州）

世界の「食堂車」車窓から

おせち料理



お正月のお祝い膳であるおせち料理も最近ではホテルや有名料亭、各国料理のレストランのプロが作ったおせち料理が市民権を得るようになってきました。今年は5万円程度の高価なおせち料理が売れ筋だったとか？！

このような市販のおせち料理では、フランス料理やイタリア料理など多国籍なおせち料理を楽しむ事ができますが、イタリアやフランスにはおせち料理はあるのでしょうか？一月一日を New Years Day として祝うだけの習慣である欧米諸国では、お正月に特別な料理を準備する習慣は無いようです。お正月を祝う定番のお料理はありませんが、新年を迎えるイブには多くの人々がレストランや家庭でパーティーを開き、新年の瞬間には一斉に乾杯するそうです。

日本に在留しているイタリア人やフランス人の方々は、百貨店などに並んでいる日本人がアレンジした各国風のおせち料理をどのような気持ちで見ているのか？一度伺ってみたいものですね！（Soramame）

留学偉人伝 (5)

津田梅子

明治の教育者であり、津田塾大学の創始者。また、日本の女子教育の先駆者と評価されている。最初の名前は“うめ”（表記上、むめと書いたそうです）で、1902年に漢字表記に改名し、「梅子」としたそうです。



津田うめは、東京府氏族であり、幕臣であった父、津田仙と、初子夫妻の次女として、江戸牛込の南御徒街に生まれました。江戸幕府崩壊と共に、幕臣であった父は職を失ったのですが、築地のホテル館へ勤務し始め、一家揃って向島へと移りました。父、仙は西洋野菜の栽培も手がけ、幼少時の梅子は父の西洋野菜農園

の手伝いもしていたそうです。父は、1871年に明治政府の事業のひとつであった北海道開拓使の囑託となり、一家は麻布へ移りました。その頃、女子教育にも関心を持つ開拓使次官の黒田清隆が企画した女子留学生募集に父は梅子を応募させ、みごと合格。梅子は岩倉使節団に随行し、初渡米することとなりました。このとき、御年満6歳。（梅子はもちろん最年少だったそうです。）横浜を出航し、サンフランシスコを経てワシントン市へ到着。ジョージタウンにある日本弁務官書記のチャールズ・ランメン家に預けられ、英語やピアノを学び始め、市内の学校（コレジエト・インスティテュート）へ通うこととなったのです。1878年に、コレジエト校を卒業した梅子は、私立の女学校：アーチャー・インスティテュートへ進学し、ラテン語・フランス語といった語学や英文学、自然科学や心理学、芸術を学びました。1881年に、帰国命令が出ましたが、まだ就学中だった梅子は滞在を延期し、1882年に卒業した後、日本へ帰国しました。

帰国したものの、当時の日本には儒学の価値観が色濃く残っており、帰国後女子留学生が活躍できる職業分野にとっても乏しかったとのこと。帰国翌年、外務卿の井上馨邸で開かれた夜会にて、岩倉使節団で一緒だった伊藤博文と再会し、華族子女を対象にした教育を行う桃无女塾（私塾）を開設していた下田歌子を紹介されました。梅子は再び実家を出て、伊藤への英語指導や通訳のため伊藤家に滞在し、歌子から日本語を学び、桃无女塾で英語教師として教鞭をとることになりました。1885年には伊藤博文から推薦され、華族女学校（学習院女学部から

独立して設立された）で、英語教師として教えることとなったそうです。しかし、上流階級の気風に馴染めなかった梅子は、この時期に何度も勧められた良家との縁談も断り、たまたま来日した留学時代の友人、アリス・ベーコンに再び留学することを勧められ、再度留学を決意、フィラデルフィアのブリンマーカレッジ（Bryn Mawr College）で生物を学びました。梅子に再留学を勧めたアリス・ベーコンは、日本習俗に関心を持っており、日本女性に関する研究をしていました。ベーコンがアメリカへ帰国した後に「日本の女性」という本を出版した際、梅子が手助けをしたことがきっかけで、梅子も日本の女性教育に関心を持つことになったそうです。そこで梅子は、日本女性留学のための奨学金設立を発起し、公演や募金活動を始めました。

ブリンマーカレッジ側からは、卒業後もアメリカへとどまり研究を続けることを勧められたのですが、1892年に日本へ帰国。再び女子華族院に勤めました。梅子は教師生活を続ける傍ら、自宅で女学生を預かるなど、積極的な援助を行い、1894年には明治女学院でも講師を務めました。そのころ日本社会では女子大学創設運動や高等女学校令、私立学校令が交付され、法整備も整い、女子教育への機運が高まっていました。そこで梅子は1900年、父や親友アリス・ベーコンなどの協力者の助けを得て「女子英語学塾（現在の津田塾大学）」を設立・開講し、初代塾長となりました。

<トリビアの泉 ~津田梅子~>

噂によると・・・津田梅子は日本語の通訳が必要だった？

6歳で初渡米し、約11年間の留学生生活を終えて帰国した時の梅子の日本語は、長い留学生活により、通訳が必要なほど退化しており、日本的風習にも不慣れになってしまっていたそうです。帰国した際の頃は、日本語の通訳が必要な程だったそうです。

梅子が設立した女子英語学塾はこれまでの行儀作法の延長のような女子教育と異なり、華族平民の別のない進歩的で自由、そしてレベルの高い授業を展開し、評判の女学校となりました。独自の教育方針を妨害されずに貫き通すため、資金援助は極めて小規模に留められたため、梅子やアリス・ベーコンらは初め無報酬で奉仕していましたが、学生や教師の増加、拡張のための土地・建物の購入費などで経営は厳しかったようです。1903年、専門学校令が公布され、塾の基盤が整うと、塾を社団法人とし、塾経営の基礎が整った後に塾長を辞任し、塾開学初期に損なった健康を療養するため、鎌倉の別荘で過ごしたとのこと。梅子が設立した女子英語学塾はこれまでの行儀作法の延長のような女子教育と異なり、華族平民の別のない進歩的で自由、そしてレベルの高い授業を展開し、評判の女学校となりました。独自の教育方針を妨害されずに貫き通すため、資金援助は極めて小規模に留められたため、梅子やアリス・ベーコンらは初め無報酬で奉仕していましたが、学生や教師の増加、拡張のための土地・建物の購入費などで経営は厳しかったようです。1903年、専門学校令が公布され、塾の基盤が整うと、塾を社団法人とし、塾経営の基礎が整った後に塾長を辞任し、塾開学初期に損なった健康を療養するため、鎌倉の別荘で過ごしたとのこと。

梅子の目指す女子教育を今でも貫いている津田塾大学。今日の社会でも多くの卒業生が活躍しています。男女平等条約批准、男女雇用機会均等法の設立では、津田塾大学卒業生の活躍がめざましく、そんな彼女たちの活躍を表現する「津田マフィア」という言葉が生まれる程！?

(マフィアという表現は、聞こえはあまり良くないような気がしますが、それほどしっかりとした教育を受けた卒業生であり、様々な分野での活躍が目立ったのでしよう・・・) (Sai)

～ IYEO 海外デスク便り ～

文武両道&芸術!?

Maiko Quach / IYEO AUSTRALIA

今回の IYEO 海外デスク便りはオーストラリア/パースから西オーストラリア州の優れた高校教育の一例をご紹介します! Maiko さん、寄稿頂き有難うございました!

- 勉強とスポーツ・芸術を同時に究める -

長年に渡り西オーストラリア州の高校では、生徒の持つ可能性を見出し、バランスのとれた教育プログラムを提供しています。中でも John Curtin College of the Art は、学業に加え身体面・芸術面の可能性を前面に引き出すことに力を注いでいます。



この学校は、フリーマントルという港町近くに位置し、芸術、スポー

ツ、そして学業ともに秀でた学校であり、中でも演劇、視覚絵画、サッカーが特に優秀で傑出した人材を多く輩出しています。最近体験留学をした生徒さんが、「歌もうまいんだけど、勉強もすごくできる生徒がいるんですね!」と感心していました。



John Curtin College of the Art の卒業生は、難関といわれる Western Australian Academy of Performing Arts (WAAPA)

へも合格しており、WAAPA の卒業生の中には、ヒュー・ジャックマンのように世界で活躍しているアーティストもおります。また、サッカーのスペシャルプログラムも当校にあり、国、州代表に選ばれた選手もおります。

一方、昨年の大学入試統一試験結果では、WA 州約 170 高校の中で上位 20 校にランクづけされ、芸術、スポーツに秀でた学校であっても、同時に学業においても優秀な成績を収めることができる、ということをお話しています。

日本の中学生・高校生は、進学かスポーツかと選択を強いられますが、オーストラリアの場合には、進学校でも自分の好きな事は、たとえ統一試験、大学受験があっても、むしろそれを継続したほうが良い結果が出ると思え、好きな事を卒業するまで続けていきます。何時間もかけて練習・勉強をするかという事よりも、いかに効率よく自分の好きな事と勉強を両立させ集中できるか、チャレンジして欲しいと考えているようです。

オーストラリアがなぜ、人口比率からするとオリンピックのメダル獲得数が世界一か?もしかしたら、この教育システムのおかげかもしれません。

編集後記

暦の上では間もなく大寒。一年中で最も厳しい寒さの時期ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。日本では受験シーズンに突入ですが、アメリカ・カナダ・イギリスに留学中の生徒さんは一年の折り返し地点を過ぎたところ。オーストラリアやニュージーランドでは新学期が始まる頃ですね。今年も皆さんに楽しく有意義な情報を提供すべく、編集部員一同張り切ってまいります。どうぞご期待下さい!!

季刊誌 「IYEO News Avenue Vol.15」 2009 年 1 月 20 日号

発行 青少年異文化交流推進協会

〒730-0052 広島市中区千田町 2-1-2 TEL 082-246-9400 FAX 082-243-1849

URL: <http://www.iyeo.org> e-mail: info@iyeo.org

編集 畑俊行(IYEO 大阪) 岩下小百合(IYEO 福岡) 八木ゆう子(IYEO 広島)